

印刷して作られる前に、ご一読をお願いいたします。

「作ろう！恐竜ワールド」 家庭向け印刷用データについて

このデータは、2006年7月15日～9月18日に行われた、第15回特別展「体感！恐竜ワールド」の際に発行され、すでに完売となった工作キット「作ろう！恐竜ワールド」（1部500円）を家庭向け印刷用に編集したものです。（印刷の都合上、背景と地面は販売していたものから約86%と小さくなっています。）

※無断データ改変・営利転載は固く禁じます。

監修 林原自然科学博物館

イラスト 三木國弘

企画・制作 倉敷市立自然史博物館・倉敷市立自然史博物館友の会

恐竜

恐竜は中生代という時代の陸上に栄えた爬虫類^{ほちゅうるい}の仲間です。中生代はおよそ2億4800万年前から6500万年前までの期間で、三つの時代に区分されます。古い方から三畳紀、ジュラ紀、白亜紀です。恐竜が出現してきたのは三畳紀の後半、2億3000年前ころのことと考えられています。

中生代には、空を飛んでいた爬虫類である翼竜（プテラノドンなど）、海を泳いでいた爬虫類である魚竜（イクチオサウルスなど）や首長竜（プレシオサウルスなど）がいましたが、これらはいずれも恐竜とは区別されています。恐竜は足を体の真下にまっすぐ伸ばして活発に陸上を歩いていた爬虫類でした。

最古の恐竜はアルゼンチンから発見されていて、二足歩行でした。早い段階で腰の骨の大型になったもの、四足歩行にもどったもの、特殊な形態になったものなど、さまざまな恐竜が出現して繁栄しました。比較的暖かで安定していた中生代の環境が恐竜の繁栄の追い風になったと考えられます。

ところが、白亜紀の後半になると環境に大きな変化が生じ、およそ6500万年前には大隕石^{いんせき}の地球衝突もあって、すべての恐竜が絶滅してしまいました。

現在生きている鳥類の祖先は、ジュラ紀に出現していますが、その後の地層からも羽毛をはじめ、さまざまな鳥類の特徴をもった小型肉食恐竜が発見されています。そのため、鳥類を恐竜の仲間のひとつとして分類する学者も増えてきています。

この「作ろう！恐竜ワールド」を完成させると三つの時代の恐竜ワールドを再現することができます。各時代の恐竜の組み合わせは化石が発見されているひとつの地層にこだわって選び出しています。つまり、いっしょに生息していたと考えられる組み合わせとなっています。たとえば、生息する時期が異なるティラノサウルス（白亜紀後期）とステゴサウルス（ジュラ紀後期）が出会うことはありませんので、飾るときは気をつけましょう。

恐竜の皮膚の色や模様は化石の証拠が少なく、皮膚の色は直接の証拠がありません。現在生きている様々な肉食動物や植物食動物の色や模様を参考にして自由に描きましょう。各時代の環境や植物についてもわからないことがたくさんあります。

（内容）

この工作キットの印刷データは全 23 枚（この紙を含みません。）あります。

内容は、三畳紀、ジュラ紀、白亜紀に分かれていて、3つのジオラマの底面は 120 度の半円になっており、組み合わせると底が正円の立体ジオラマが組み上がります。（お好みに合わせて、時代別に印刷したり、背景なしで恐竜のみ印刷して遊んだりすることなども可能です。）

（用意するもの）

はさみ、のり（木工用ボンドなど）、クレヨン・色えんぴつ・ペイントマーカーなど、家庭用プリンターと厚めの印刷用紙（用紙サイズは A4 を想定して作成していますが、拡大や縮小設定等すれば、それよりも大きくしたり小さくしたりして作ることも可能です。）

作り方

[背景と地面の作り方]

1. 背景と地面に色をぬりましょう。
2. パーツをきりとり線（—）にそって、ていねいにきりとりましょう。
3. 折り線（———， - · - · - ）にそって、ていねいに折りましょう。
4. 背景と地面をはりつけましょう。
5. 背景の裏面①と裏面④をはりあわせましょう。
背景の裏面③と裏面⑥をはりあわせましょう。→ジオラマのできあがり！

[恐竜の作り方]

1. 恐竜に色をぬりましょう。
2. パーツをきりとり線（—）にそって、ていねいにきりとりましょう。
3. 折り線（———， - · - · - ）にそって、ていねいに折りましょう。
4. のりしろを貼り合わせましょう。大きい恐竜は、頭・尾などをのりではりましょう。
→できあがった恐竜はジオラマにおいて遊びましょう！

[恐竜の収納]

販売の際に組み立て袋としていた、タイトルとティラノサウルス復元画の紙は、家庭用印刷には大きすぎるため、一部カットして掲載しています。恐竜をジオラマに貼りつけない場合、この2枚の紙のふちを貼り合わせて袋にするか、大きめの封筒に貼りつけて収納袋とすると紛失しにくいでしょう。

（注意）

- ・折り線は目打ちなどを使って、折り筋をつけてから折り曲げると、きれいに仕上がります。
- ・恐竜の名前のあとについている数字（例えばティラノサウルス（白亜紀）×1/100）は、白亜紀の恐竜で、実際の大きさの縮尺になっています。
- ・地面①～③の余白にある植物は、色をぬって、のりしろを適当にとってきりとり、各場面において恐竜といっしょに遊びましょう。

以下の恐竜が収録されています。(縮尺は各名前横にある記述にてご確認ください。)

時代・地域	名 前	分 類	食性	全長(約)
三畳紀後期の アルゼンチン北西部	ヘレラサウルス	爬虫類竜盤目獣脚亜目ヘレラサウルス科	肉食	3～4 m
	エオラプトル	爬虫類竜盤目獣脚亜目エオラプトル科	肉食	1 m
	ディキノドン	爬虫類獣弓目ディキノドン亜目ディキノドン科	植物食	0.8～1.2 m
	サウロスクス	爬虫類槽歯目ラウイスクス亜目ラウイスクス科	肉食	4～5 m
ジュラ紀後期の 北アメリカ	アロサウルス	爬虫類竜盤目獣脚亜目アロサウルス科	肉食	9～12 m
	オスニエリア	爬虫類鳥盤目鳥脚亜目ヒプシロフォドン科	植物食	1.4 m
	セイスモサウルス	爬虫類竜盤目竜脚形亜目ディプロドクス科	植物食	3.5 m
	ステゴサウルス	爬虫類鳥盤目装盾亜目ステゴサウルス科	植物食	6～9 m
白亜紀後期の北アメリカ	ティラノサウルス	爬虫類竜盤目獣脚亜目ティラノサウルス科	肉食	12～14 m
	アンキロサウルス	爬虫類鳥盤目装盾亜目アンキロサウルス科	植物食	7～11 m
	エドモントサウルス	爬虫類鳥盤目鳥脚亜目ハドロサウルス科	植物食	9～13 m